

リビング・UIL Living Will

2015年7月 発行 No.158

最悪を見据えたうえで明るく生き
るのが、本当の楽天家だと思う。
総前てを向いて受け入れる。

吉永みち子インタビュー

支部活動 最前線
議員連盟が名称変更
医療相談900件越す

D 一般財団法人
日本尊厳死協会

協会出版案内

いますぐ 読みたい1冊

人生の最期で 迷わないために

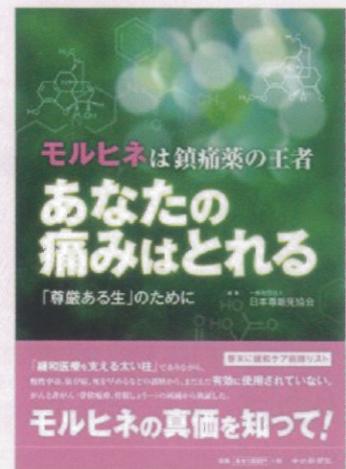
医師がいま行っているのは、治る見込みのある「治療」なのか?
死期を引き延ばすだけの「延命措置」なのか?
多くの患者家族が直面する悩みです。
がんの「不治かつ末期」とはどんな状態なのか、遷延性意識障害
(持続的植物状態)では、腎不全では……?
一番知りたいことを、各分野の専門医が誰にでも分かるように答えて
います。
尊厳ある死は、「私が決める」のです。



編著
発売
中日新聞社

新・私が決める尊厳死
「不治かつ末期」の具体的提案

あなたの痛みはとれる
モルヒネは鎮痛薬の王者



編著
発行
中日新聞社

DVD リビング・UIL
—いのちの遺言状—

激痛に苦しむ 患者に朗報!

「痛みが取れ、夜よく眠れて、食欲も出てきた。夢のようです」
—モルヒネ投与で激痛から解放された患者さんの喜びの声です。
モルヒネは、がんの痛みだけでなく、帯状疱疹(ほうしん)や圧迫骨折などの激しい痛みも速やかに取り除きます。
痛み治療の専門医が断言します。「中毒になる」「死期が早まる」は誤解です。
この本を読んで、あなたも痛みとサヨナラしませんか。

導入部はアニメ風ドラマ「ガンコ親父の一生」。病院で延命措置に苦しんだ妻を見送った「親父」が、リビング・UILを知り、入会する。その「親父」が、がん末期と宣告された時、自ら望んだことは、そして家族は……。
元気な時に自分の意思をはっきりさせておくリビング・UILの大切さが、納得できることでしょう。
協会の考え方、取り組みなども簡潔に紹介しています。

20分で分かる リビング・UIL

制作・発行 日本尊厳死協会



お求めは協会事務局へ

本・DVDいずれも各1100円(税・送料込)。お名前、住所、購入希望の本・DVD名を明記のうえ、代金を現金書留または定額小為替か切手相当額を同封して協会事務局(〒113-0033東京都文京区本郷2-27-8太陽館ビル501)宛に郵送してください。

吉永みち子さん

ノンフィクション作家
日本尊厳死協会顧問



1950年、埼玉県生まれ。85年、『気がつけば騎手の女房』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。主な著書に『母と娘の40年戦争』『ボクって邪魔なの?』『老婆は一日にしてならず』『老いも孤独も踏み越えて』など。テレビのコメンテーターとしても活躍中。日本尊厳死協会には98年に入会。2011年から協会顧問。

前を向いて生きる すべてを受け入れて

松根 最期をきちっと考えておくと、後は楽に生きられると思います。

吉永 でも、世の中はどんどん変わっています。心臓死が人の死だつたのが、脳死という話になる。死の定義が変わってくる。今は、臓器を取り換えると命を延ばすことができる。

「尊厳死」は辞書にも出てきます。自分の意思で死を捉えて、その意思を示しておくことで、私もそう思つていて、最近では、友人から「尊厳死つて何?」と聞かれた時に、この「自らの意思」という言葉の意味合いを伝えられるのに、もうひとつ説明を加えないとい真意が伝わり難いものがある。

松根 自然の状態での「自然死」という言葉でいいのではありませんか。

吉永 そうなのです。意思ではなく「受け入れる」ということ。でも今は「受け入れない」、つまりどんなこと

をして生きていることを永く延ばすという選択が可能になってきた。となると、こちらは「自然のままに任せます」ということです。そういうことが尊厳死なのかなあと思います。

松根 吉永さんはご著書で尊厳死を広めてくださつていて、とてもうれしく思つています。

若い世代への思いやり

吉永 人間はいざという時に思い惑います。落ち着いて考えられない。(離婚した)元亭主を看取った時は、彼の意思が分からなかつた。分からないと結局、延命するしかない。家族の意思といつてもそれぞれが違う。

松根 私としては、あとわずかとわかつているわけだから少しでも穏やかにと思うのに、延命を考えると、もう受け付けない体になつてゐるのに無理しても

栄養を入れる。そうするとさらに苦しくなるのにどうにもできない。

本人に聞いても、「もう殺してくれ」と言つた翌日には「あと何日生きられるのかな」と言う。頭は痛みに耐えるだけで大変なのに、冷静に自分はどう生きたいのか、死にたいのか、考えられないわけですよ。

松根 自分の意思、リビング・ウイルをはつきり示しておかなければ。

吉永 そうです。私は子供たちに口を酸っぱくして「無理な延命は望んでいない。自然のままに自分を受け入れて最期を迎える」と言つてています。

自分がどうしたいかを決めて、家族にしつかり伝える。それが若い世代への思いやりです。いまは医療の進歩でやろうと思えばすごいことができてしまう。子供たちに、「お金がなくてできなかつた」と親に申し訳ないという

氣持ちでその先の人生を歩ませるのはいやですから。

救急車で運ばれた時にリビング・ウイルが生かされるかどうか心配ですね。私は狭心症なのでどこかでバタッと倒れたら、どうなるか。

ハンドバッグに健康保険証と一緒に協会のカードを入れていて、搬送先ですぐにカードを見つけてくれる

か。一人暮らしなので、子供たちに連絡がいくまでに時間がかかるでしょう。そうすると、とりあえずの医療としては延命措置となつてしまふ。

松根 カードを大事に金庫にしまつている会員がいます。それではだめです。

吉永 隨筆家の宮子あづささんは、救急車で病院に運ばれることを想定して、胸に「延命拒否」と刺青をしておけばいいと書かれていました。でも温泉場は刺青お断りですから、温泉に入れなくなつてしまふのも困る。

2020年の東京五輪が「延命拒否」の刺青を認めさせるいい機会になれるかも。日本人にとって刺青は反社会

勢力の象徴だけど、外国人にとってはタトゥー、おしゃれです。日本の温泉

した。ところが、それから2時間後、

母親の「あらやだ、お父さん死んでいる」という声が聞こえ、雑煮どころではなくなりました。ショックでした。

人の命は意外とあけない、明日はかかる多くの学びをすると思います。

松根 吉永さんはご両親を亡くされています。私もですが、身近な者の死を決めました。

松根 吉永さんはご両親を亡くされています。私もですが、身近な者の死を決めました。

吉永 私は子供の時から、自分はどのよう

うに死ぬのか、死んだらどうなるのかと、心のどこかでずっと考えていた

ので、協会のことを知った経緯は忘れましたが、何の抵抗もなく、こういう形(尊厳死の宣言書)で最期を迎えることを決めました。

松根 吉永さんはご両親を亡くされています。私もですが、身近な者の死を決めました。

吉永 幼いころから死に興味があつた

には、ふたつの理由がありました。

ひとつは父親の突然の死です。私が

9歳の正月2日の早朝でした。母親が

父親に「今日は何を食べるの?」と聞き、

「正月三が日は雑煮でいい」という父

親の返事を私も布団の中で聞いていま

ざるを得なくなりました。

吉永 1日でも早く母親より先に死ぬ

ことが、私の最大の望みでした。私のい

ない世の中がいかに寂しいか、分かつ

てもいたかった。何とも言えず屈折

した切ない気持ちですが。ところが、母

親が先に死んでしまい、すると、自分が

生きていることは何なのかなとまた考え

親の返事を私も布団の中で聞いていま

した。ところが、それから2時間後、

母親の「あらやだ、お父さん死んでいる」という声が聞こえ、雑煮どころではなくなりました。ショックでした。

人の命は意外とあけない、明日はあ

くならないのだ。

もうひとつは、母親との関係がずっとましくなかつたことです。母親は私

が好きではないといつも感じています。

その後、母親には事情があつたことが分かりましたが、幼いころの私はいつも多くなかつたことですが、自分が死んだら母親はどんな反応をするのか、知りたかったのです。

松根 はあ!?

吉永 1日でも早く母親より先に死ぬ

ことが、私の最大の望みでした。私のい

ない世の中がいかに寂しいか、分かつ

てもいたかった。何とも言えず屈折

した切ない気持ちですが。ところが、母

親が先に死んでしまい、すると、自分が

生きていることは何なのかなとまた考え

親の返事を私も布団の中で聞いていま

ざるを得なくなりました。

吉永 1日でも早く母親より先に死ぬ

ことが、私の最大の望みでした。私のい

ない世の中がいかに寂しいか、分かつ

てもいたかった。何とも言えず屈折

した切ない気持ちですが。ところが、母

親が先に死んでしまい、すると、自分が

生きていることは何なのかなとまた考え

親の返事を私も布団の中で聞いていま

ざるを得なくなりました。

吉永 1日でも早く母親より先に死ぬ

ことが、私の最大の望みでした。私のい

ない世の中がいかに寂しいか、分かつ

てもいたかった。何とも言えず屈折

した切ない気持ちですが。ところが、母

親が先に死んでしまい、すると、自分が

生きていることは何なのかなとまた考え

団塊の世代よ、まずは自分を知ろう

を楽しみに来る大勢の外国人を温泉場は断るのですか。

タトゥーや「延命拒否」を認めてほしい。それがクリアーできたら、私

即やりますから。長らく協会の会費を払っておきながら、最終局面で生かされなかつたら悔しいじやないです。

松根 人生の節目、節目で女性の生き方を発信してきた吉永さんも、団塊世代の1人として高齢者の仲間入りをしました。

団塊世代の生き方とは

吉永 団塊の世代は親を看取りますが、子供には看取られないですよ。団塊ジュニアは少子化が始まっているし、大都会に出て行つて帰つてこない。団塊世代は、子供に看取られない



インタビューは東京・本郷の協会事務所で行われた。

旧知の松根さん（左）と話が弾んだ。

最初の世代なのです。

私たち66歳から68歳で、そろそろ70歳。自分がどう最期を迎えるか、家の中の片づけにしても収束に向かうに

は、気力と体力が要ります。今から考えておいたほうがいい。

でも、私たちは勢いに任せてせかせかとやつてきたので、考えるのは割と下手です。

「崖っぷちまで走つて行つてコロッ」と転げ落ちるような死に方でいいんだ」なんていう男がいるけど、「あんたさあ、転げ落ちられるかどうか、分からぬよ」って。途中で松の木に引っかかってしまうかもしれない（笑）。

男の人は女房がやつてくれるだろうと思っている。でも、はつきり言つてもらわないと女房は困つてしまふ。

年をとれば、今みたいに動いたり、おしゃべりしたり、おいしいものを食

べられなくなるかもしれない。そう考えると、辛く悲しいことかもしれない

まう。もちろん楽しいことではないけれど、それを見なければ済むという話

ではない。

そう考えていると、「暗いことばかり思つていて。でも、はつきり言つてもらわないと女房は困つてしまふ。

年をとれば、今みたいに動いたり、おしゃべりしたり、おいしいものを食

べられなくなるかもしれない。そう考えると、辛く悲しいことかもしれない

まう。もちろん楽しいことではないけれど、それを見なければ済むという話

ではない。

そう考えていると、「暗いことばかり思つていて。でも、はつきり言つてもらわないと女房は困つてしまふ。

年をとれば、今みたいに動いたり、おしゃべりしたり、おいしいものを食

べられなくなるかもしれない。そう考えると、辛く悲しいことかもしれない

まう。もちろん楽しいことではないけれど、それを見なければ済むという話

ではない。

松根 女はお腹の中で10ヶ月、子供を宿し、生み育てる性を与えられていました。

吉永 私たちの世代は「暗いところを見ないで、明ることを考え、突つ走ろう」的な、不安定でヒステリックな明るさがある。それでうまくいかなくなると一気に暗さに転じる。

吉永 いまはその手もある。樹木葬とかいろいろある。自分の葬式で流す音楽まで決めている人もいる。エンディングノートに、資産がどのくらいあって、誰に渡せば一番税金がかからないかとか書き込んでいる。

吉永 みんな一斉に考え出しているけど、そこだけ考えると分からなくなつてしまふ。その手前が大事で、人間は段階を踏んで考えていかないといけない。

吉永 例え、本を整理していく、捨てられない本と「まあいや」という本があつた時に初めて、自分はこういうものが好きだったと気付くのです。

吉永 先日、美術のキュレーターの方と話をしていて、いい言葉を聞きました。みんな色々なところに行きたがる。「あそこを見なければ」「見ないうちは死ねない」と言うけれど、死ぬときは何も持つていけない。最期に持つて行け

が社会現象のようになっています。吉永 終活とは、何かを考えることだと思ふんです。墓はどうするか、自分が死んだらどこに埋まるのか。私は墓が2つあって、まだ悩んでいます。

吉永 私は散骨です。

終活と「魂の記憶」

吉永 いまはその手もある。樹木葬と

かいろいろある。自分の葬式で流す音楽まで決めている人もいる。エンディ

ングノートに、資産がどのくらいあつて、誰に渡せば一番税金がかからない

かとか書き込んでいる。

吉永 みんな一斉に考え出しているけど、そこだけ考えると分からなくなつてしまふ。その手前が大事で、人間は段階を踏んで考えていかないといけない。

吉永 例え、本を整理していく、捨てられない本と「まあいや」という本があつた時に初めて、自分はこういうものが好きだったと気付くのです。

吉永 先日、美術のキュレーターの方と話をしていて、いい言葉を聞きました。みんな色々なところに行きたがる。「あそこを見なければ」「見ないうちは死

ねない」と言うけれど、死ぬときは何も持つていけない。最期に持つて行け

吉永 その通りです。いま、「終活」

インタビューを終えて

吉永さんとは、協会設立25周年記念事業の作文募集で審査委員として一緒にいました。応募総数978点。お忙いなか、すべてに目を通してくださったのです。今回、久しぶりにお会いしましたが、互いにぶれることなく、《覚悟の大切さ》を語り合つて爽やかなものでした。マスクミでご活躍ですから、リビング・ウイルの大切さをさらに広めていただきたく願っています。

吉永 「あの人には息子があんなに面倒を見ててくれるのに、私にはいない」とか、「なんで自分がこんな目に遭わなければいけないのか」とか、そんなことを

寂しいでしよう」と言われてしまう。寂しくなんかないですよ。見た目は孤独でなくとも、遺産の計算をしている奴が周りにいて「まだ死はないのか」なんて思われるの寂しいよね。

一人で死ぬことイコール寂しい、一人で死ぬことイコール孤独、孤独はイ

コールお氣の毒、この括りの中ですべて

聞き手 松根敦子・元協会副理事長
協会設立2年後の1978年に入会82歳
写真 長谷川 朗

年とともにしんどいことがいっぱい起きるでしょう。最近、朝起きた時に体が急に痛くなることがあって、「あ

幅広い支持を目指し名称変更

議連の新名称は「終末期における本人意思の尊重を考える議員連盟」。法案の一本化を決定し、国会提出を目指す取り組みを強化した。

尊厳死法制化を考える議員連盟（増子輝彦会長、187議員）は5月27日、衆院議員会館会議室で議連総会を開き、議連名称の変更、2つあつた法

案のうち延命措置の対象を「不開始と中止」とする案を議連案とすることを決めた。



議連の山口俊一幹事長、増子輝彦会長（左から）らが活発に議論した

すでに10年余を経過する法制化運動が足踏みするなか、議連総会の開催は1年ぶり。

総会で増子会長（民主・参）は「議連メンバーは増え、議員の関心も高まっている。総会を機に法案提出へ議連の作業を加速させたい」とあいさつ。山口俊一幹事長（自民・衆、内閣府特命担当大臣）は「法案が国会に提出されれば圧倒的賛成を得られると信じる」と述べた。

議連の新しい名称から「尊厳死法制化」が姿を消し、「本人の意思の尊重」が前面に掲げられた。変更理由について増子会長は「議連が考える法案の実体に合った名称にして、國民によりわかりやすく伝えられれば」と説明した。



「協会LWを法制化に対応」 岩尾理事長が総会で説明

議連総会に出席した岩尾總一郎理事長は、法制化が成ったときに備えて、協会リビング・ウイルが

が、議連内での討議や関係団体からのヒアリングで「尊厳死」のためだけの立法とみられて、安樂死との混同や誤解から徒に反論を招く場面もあった。議連は昨年の役員会から「名称変更」を議題にし、法案名に即した名称に改めた。それは議連が「新しい一步」を踏み出すことでもある。

議連法律案は「終末期の医療における患者の意思の尊重に関する法律」案。差し控える延命措置の対象で「不開始」と「不開始・中止」の2案が作成された（2012年提示）。協会は「中止を入れなければ立法の意味がない」と申し入れた経緯がある。現在、議連メンバーが所属する7党会派で法案の意見調整と党内手続きが進んでいる。

意思表示書面のモデルになるよう見直しに入ることを明らかにした。

議連法案は意思表示を「書面、あるいは厚生労働省が定める方法により（第7条）とする。書式は未定だが、本人意思だけに基づく「尊厳死の宣言書」は自律性が高く、協会40年の歴史を通じ、國民から支持されている。

「法律案」の主な項目とポイント

法制化議員連盟が提示した「終末期の医療における患者の意思の尊重に関する法律」案は13条と附則から成っている。これをもとに各党派で意見調整し、国会に提出する法律案が作成される。

主な項目	ポイント
【趣旨（第1条）】延命措置の中止等（不開始を含む）について医師免責が法律で担保されていないため、患者の希望しない医療が実施されるおそれがある。免責を規定することで、患者の意思尊重が保証される。	医師免責で「患者の意思尊重」を実現 免責規定がないため、延命措置中止に対し医師の腰が引ける場面がある。免責を規定することで医療側が安心して取り組め、「患者の意思尊重」が実現する仕組み。
【法律での用語定義（第5条）】終末期=行い得るすべての適切な医療措置を受けても回復の可能性がなく、死期が間近と判定された状態。医療措置には栄養補給を含む。延命措置=治療、疼痛緩和ではなく、患者の生存期間の延長を目的とする医療措置。	「栄養補給」も対象に大きな意味 「終末期」の定義は、長年の議論を通して「治療効果が期待できず、死への進行が止められず、不可避になった」が共通の理解に。（中止できる）医療措置に「栄養補給」を明記したのが大きな意味を持つ。
【要件・終末期の判定（第6条）】的確な判定を行う知識と経験をもつ2人以上の医師の一一致した判断による。口腔がんなどの場合、1人以上の医師及び1人以上の歯科医師の判定による。	辺地、在宅医療との実情に問題 2人以上の医師の判定は、辺地医療や在宅医療の場面を想定すると、実情に合わないと指摘されている。実際の運用では、地域医師会との連携などが必要となる。
【要件・患者の意思表示（第2、7、8条）】15歳以上の患者は延命措置の中止等を希望する旨を記した書面、あるいは省令で定める方法で意思表示できる。意思表示は患者本人の任意でなければならない、その意思はいつでも撤回できる。15歳以上は臓器移植法援用。	任意の意思決定による「書面」で表示 「患者の意思」表示は明確さが必要で、「書面」でと厳しくなっている。書面の書式も一定要件が定められるので、協会「宣言書」がこの書面に該当するためには改定が必要な場面も想定される。
【中止と免責（第7、9条）】医師は、終末期の判定および書面で患者が意思表示している場合、省令に定めるところにより延命措置の中止等ができる。法の定めに基づく中止等については民事、刑事、行政上の責任を問われない。	法律によらない延命措置中止もあり得る 延命措置中止はこの法律でなければできないのか。法律案は「この規定によらないで延命措置の中止等を禁止するものではない」（第13条）と、医療の実際運用に幅を持たせている。

協会は立法化に対応できるLWを模索して外部有識者も参加する「LW検討会」を設置、昨年1年間審議してきた。今春報告書が提出され、超高齢社会が抱える将来の意思決定能力の低下

に備えた対応、LWの信頼性、実効性を高める仕組みなど「明日のLW」のありべき姿が提言された。岩尾理事長は「協会の活動は厚労省令が定める意思表示書に何らかの形で

生かされるとと思う」と説明した。
会報編集部 白井正夫
議連総会で役員人事もあり、現体制は次の通り。

会長 増子輝彦▽副会長 大畠章宏（民主・衆）、鴨下一郎（自民・衆）、河村建夫（同）▽幹事長 山口俊一▽副幹事長 武見敬三（自民・参）▽事務局長 石川昭政（自民・衆）

Memo
法制化議員連盟
議員連盟は、同じ政治課題、政策推進をめざす国会議員団。趣題の立法化や政策提言にある。「尊厳死法制化議員連盟」もその一つで、日本尊厳死協会の働きかけで、2005年4月設立された。超党派の国会議員が参加し、終末期医療の法的整備をするための「議員立法」をめざす母体として10年余、活動が続く。

法制化議連は協会が提示した「要綱案」をベースに議論を重ね、医療、法曹、宗教、患者団体や関係省庁からヒアリングして、「患者の意思尊重」を前面に掲げた法律案をまとめた。社会的合意を広げようと、丁寧な立法作業が続けられ

医師との意思疎通に悩む

- 医療内容に関する相談 4割 独居・老後の不安も増える
- 「家族と医師の間に別の『人』に入つてもらおう」とアドバイス

医療についてわからないこと、迷い悩んでいることをお聞きし、相談者に必要な情報を提供して支援する「電話医療相談」。

日本尊厳死協会が会員を対象に行っている2014年度の相談結果がまとめました。

相談の総件数は434件と前年度並みでしたが、ひとりで複数の問題を抱えることもあり、相談内容別の項目件数では965件と前年度（886件）を大きく上回りました。相談内容が複雑になつてきており、「回の相談時間も30分から50分を要しています。

相談内容の分類（別表）では、

「医療内容に関すること」が381

件（39%）と最も多く、「その他」157件（16%）、「疾病について」

121件（13%）、「宣言書に関して」114件（12%）と続きます。

相談内容の割合で前年度と比べて大

きく変わったのは「その他」が6ポイント、「主治医との関係」（8%）が3ボ

イント増えたことです。

「その他」は、「独居や老後の不安・健康不安・人間関係」とメンタルケ

超高齢社会のなかで家族関係が希薄になつたり、友人・知人が少なくなつたり

して「不安」を相談できる人が少なくなつて

いる事情が考えられます。

「主治医との関係」は、医師との話

し合いをどう進めたらよいかわからな

い、治療をめぐり関係が悪化したなど

の相談です。「医療内容」「疾病」の相

談でも医師との意思疎通がうまくいかないことが背景にあることが多い、共

通の問題になっています。

「治療」か「延命」か

胃ろうはどうしたら？

最も多かつた「医療内容」の相談は、

小項目別では延命措置（117件）、

尊厳死の尊重（133件）、病気の治

療内容（131件）についてと、ほぼ

三分されています。

延命措置のなかでは、「水分・栄養

補給（胃ろう、経鼻管、中心静脈栄

養）」に関する相談が84件と集中して

ます。□から食べられなくなつたら即胃

ろうの是非は毎年、その選択に途方に

暮れる多くの相談が寄せられています。

「医師から胃ろうをもちかけられ、返事を迫られている」と決断への悩みや、「胃ろうが嫌なら在宅へと、退院を迫られている」という「転院圧力」の前に窮している相談があります。

が往々にして起こります。

倒れて長期間意識が戻らない患者のやいま行われている医療措置が「延命

か「救命」か、で医療側との食い違い

を理解してくれない、尊重してくれないという相談です。終末期のどちら方

やいま行なっている医療措置が「延命」

か「救命」か、で医療側との食い違

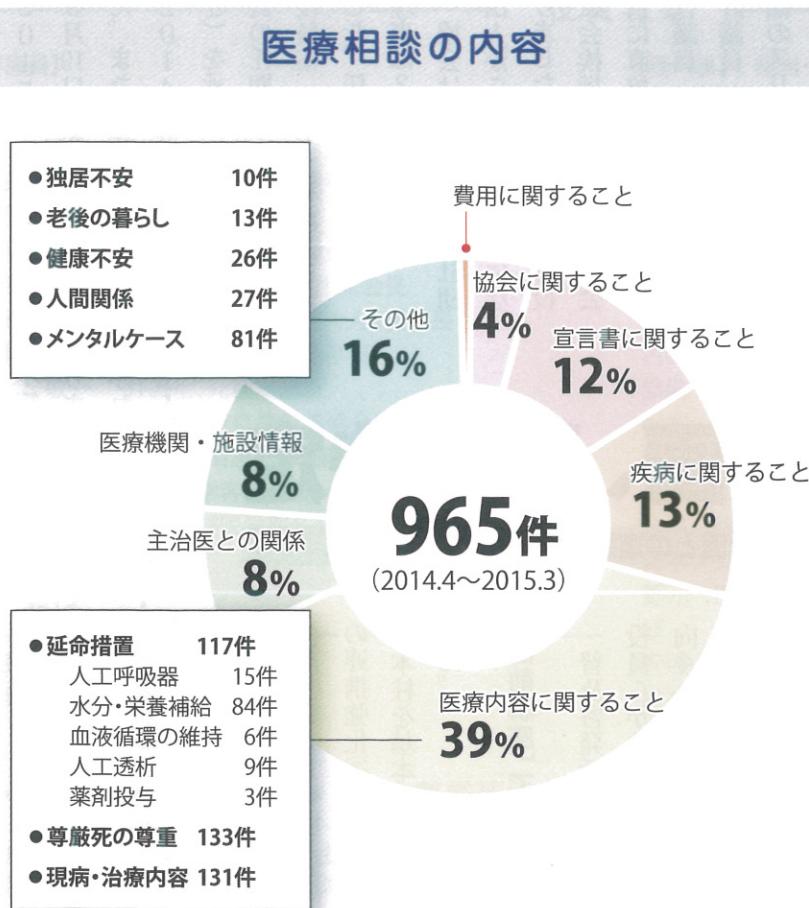
いが往々にして起こります。

倒れて長期間意識が戻らない患者のやいま行われている医療措置が「延命

か「救命」か、で医療側との食い違



医療相談は本部事務局で行われています



医師は「治療の段階であつて、延命措置ではないから外せない」と応じないようなケースが出てきます。家族からは「協会に入つても役に立たない」と不満をぶつけられかねません。

2014年度相談の分析から、相談員は医療側の態度が徐々に「患者、家族の意見を聞こう」と変化してきています。さて、実際の相談場面です。たとえ

ば「胃ろう」の相談を受けた相談員はまず患者の病状をできるだけ聞き取り、医師から治療の目的、今後の見通しどうをどう説明されているかを尋ねます。相談者が十分にわかつていなくて（医師がわかりやすい説明をしていない場合が多い）、混乱が生じている場合が多いからです。

混乱が整理できたら、相談員は胃ろうの正しい知識やそのメリット、デメリットを説明します。が、相談者が抱える難問の解決はここからです。

胃ろうをするか、しないかの選択は患者の希望を託された家族に委ねられているのが実際です。その「決断」をするのに判断材料は十分でしょうか。治療を担う医師の説明、判断をもう一度聞いておきたいところです。

相談者の「孤立」を解き 必要な情報を提供

説明、話し合いといつても、それがうまくいかないから「相談」になつているのです。説明を受けてもわからなまま、忙しそうな医師に聞けないと遠慮が生じ、混乱が続きます。こんな場合、医師と家族の間に「人」が入るとスマーズにくことがあります。

医療相談（通話無料）
0120-979-672

月・水・金曜日
午後1時～5時（変更あり）

病気や医療、特に終末医療について心配ごと、困りごとを専門の相談員がお聞きし、サポートいたします。

どなたでもどうぞ 「仙台駅横交流サロン」

7月24日(金) 14:00～15:30

仙台市の「せんだいアエル」

6階特別会議室(JR 仙台駅西口3分)

テーマ「終末期の痛みあれこれ」

17回目の交流サロンです。今回は協会が出版し

た『あなたの痛みはとれる』(支部理事・加藤佳子医師も執筆)をテキストに「なぜ多い、終末期の痛み」について話し合います。

次回、第18回サロンは10月9日

時間、場所は今回と同じ。

関東甲信越支部

03-5689-2100

「平穏死」の石飛幸三医師講演会

10月28日(水) 14:00～16:00 (開場 13:00)

甲府市の山梨県立県民文化ホール(コラニー)会議室

=JR 甲府駅よりバス5分、もしくは徒歩20分

▶講演 「終活／安らか看取りの追求」



石飛幸三さんは、東京都世田谷区特別養護老人ホーム「芦花ホーム」常勤医師。特養ホームでの「静かな最期」「自然な看取り」に心がけ、5年前、その取り組みを書いた『「平穏死」のすすめ』(講談社)を出版、“平穏死”の言葉と考えが全国に広まった。今春から協会関東甲信越支部理事を務める。

なお、当日は催事が多くありますのでお車での来場にはご注意下さい。

▶定員 96人(無料・先着順・予約は不要)

▶「支部公開講演会 in 甲府」として

サロン in 本郷(交流の場にどうぞ)

お茶を飲みながら「尊厳死」「終末期医療」「看取り」などについておしゃべりしましょう。無料です。一般の方も歓迎です。お説明あわせのうえ、事前にご予約してお出かけください。

7月10日(金) 13:30～15:00

9月11日(金) 13:30～15:00

10月9日(金) 13:30～15:00

会場 支部事務所

東京都文京区本郷2-40-14 山崎ビル302

(交通:地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目」

駅下車すぐ)

052-481-6501

リビングウイル懇話会 in 志摩

8月1日(土) 14:00～

三重県志摩市の県立志摩病院2階講堂

講演 「尊厳死と緩和医療の充実

～モルヒネに対する誤解を解くは必須」

青木 仁子 副理事長・東海支部長(弁護士)

講演 「介護保険の上手な使い方」

前田 小百合さん(志摩病院地域連携センター長)

定員 先着50人

北海道支部

011-736-0290

尊厳死を考える in 帯広

10月1日(木) 13:00～16:00

帯広市の「とかちプラザ」2階視聴覚室

講演 「ターミナルケアについて」

美濃 羊輔・帯広畜産大学名誉教授

定員 160人(無料)

講演後に質疑応答も予定しています

旭川懇話会おしゃべりサロン

9月1日(火) 13:00～

旭川市・ときわ市民ホール

会員、市民の気軽な集いです

函館懇話会おしゃべり会

9月17日(木) 14:00～

函館市の市総合福祉センター

会員、市民のみなさんで集いましょう

おしゃべり広場

7月21日(火) 10:00～12:00

9月15日(火) 10:00～12:00

札幌市の札幌エルプラザ(JR 札幌駅北口前)

先着20人(予約不要)

東北支部

022-217-0081

第19回 東北支部 仙台大会 兼 第2回 日本リビングウイル研究会 東北地方会

テーマ「大災害死・尊厳死・臨床宗教師」

—宗教者にしか行えない終末期ケア—

東日本大震災の被災者支援をきっかけに、東北大学は「臨床宗教師」の養成を2012年度から始めました。臨床宗教師は布教や伝道と一線を画し、さまざまな苦しみを抱えた人々に寄り添い、ケアを提供する宗教者です。宗教者にしか行えないケアの存在意義が脚光を浴び始めています。



9月13日(日) 13:30～16:00

仙台市福祉プラザ「ふれあいホール」(地下鉄「五橋」下車、3分)

▶第1部 基調講演「臨床宗教師 誕生からこれまで」高橋 原 東北大学大学院文学研究科
実践宗教学寄附講座准教授(宗教心理学)

▶第2部 討論(会場からの発言、討議)

「宗教者の新たな役割とは」

「被災者に寄り添い、心の悩みを聴く」

「質問にこたえて」

座長 東北支部長 橋村 裕

▶定員 300人(会員、一般どなたでもどうぞ)

臨床宗教師 高橋 悅堂

応急仮設住宅居室訪問ボランティア 目黒 奈緒美

高橋 原

詳細は東北支部へ

四国支部

089-993-6356

支部サロン

"喫茶去(きっさこ)だんだん"

身近なテーマで、自由に気楽にお話する集まりです。

会場は支部事務所(松山市大手町1)です。

7月3日(金) 私の養生訓～夏を乗りきる～

9月4日(金) 社会の気になること

10月2日(金) 脳活は楽しい

時間はいずれも 13:30～15:30

九州支部

092-724-6008

協会くまもと市民フォーラム
第2回日本リビングウイル研究会九州地方会

9月26日(土) 13:30～17:00

熊本市の熊本県民交流館パレアホール

(JR熊本駅より市電、あるいは会社線バスで「水道町」または「通町筋」下車、17分)

▶定員: 300人(無料)

▶特別講演 「わが国における尊厳死をめぐる諸問題～課題と展望～」(仮題)
岩尾 総一郎(協会理事長)

▶パネルディスカッション

人生の最終段階における医療とケアの方針決定 ~その時、事前指定書はどう生かされるのか~

司会: 吉田 仁爾(支部くまもと副会長)

パネリストは次のみなさん

堀尾 鐵男 (元自衛隊 陸将補)、

龍 寛 (日本尊厳死協会 会員)、

田中 不二穂 (表参道吉田病院副院長)、

藤木 美才 (医師・弁護士) ら

問い合わせ先くまもと事務局

藤本まで(TEL.096-343-6161)

公開講演会in北九州

7月11日(土) 13:30～16:00

北九州市・小倉リーセントホテル

講演 「終末医療と尊厳死～LWの必要性を考える」

原信之 支部長、福岡東医療センター名誉院長

講演 「生前整理で幸せ終活」

岡本 三枝子 終活カウンセラー

リビングウイル懇話会in半田

9月5日(土) 14:00～16:30

半田市市民交流プラザ(クラシティ半田3階) 定員 先着120人

半田市広小路町90(電0569-32-3430) 名鉄河和線・知多半田駅と連絡通路で直結

▶講演 **リビングウイルと家族～法的側面から**

青木 仁子 副理事長、東海支部長(弁護士)

▶講演 **自宅で死と向き合う～在宅医療の現場から**

森 智弘 医師(森クリニック院長=受容協力医師)

北陸支部

076-232-0900

福井地区懇談会

7月18日(土) 14:00～16:00

越前市白崎町、しぶき温泉、公共の宿「湯樂里」「上手な医者のかかり方」をテーマに

関西支部

06-4866-6365

カール・ベッカーさん講演会

11月1日(日) 13:30～15:00

京都市のシルクホール(京都産業会館8F、地下鉄烏丸線四条駅、阪急京都線烏丸駅すぐ)

▶支部京都講演会として

▶講演 **自分らしい理想の最期～生と死を考える** カール・ベッカー 京都大学大学院教授

サロン交流会

7月18日(土) 14:00～16:00

関西支部事務所

テーマ **在宅医療へのあこがれ**

～病院勤務医時の反省と後悔～

定員 15人(予約は早い目に、関西支部まで)

担当 中川 真里 支部理事、脳神経科専門医

定例サロンへどうぞ

毎週 7月：7日、14日、21日、28日

火曜 8月：4日、11日、25日

9月：1日、8日、15日、29日

いずれも 13:00～16:00

お好きな時間に友人とご一緒に気楽お越し下さい。

支部事務所は 大阪市淀川区宮原4-1-46
(新大阪駅から徒歩5分)

中国地方支部

082-244-2039

公開講演会・支部大会

9月6日(日) 13:30～15:30

広島市民病院中央棟10階講堂

「最後を楽しむ」～奇跡が起きる「仁」の医療

田岡 仁志 医師(山口県周防大島町、おげんきクリニック院長)

会員の「ここが知りたい」

あなたの疑問、不安は何ですか。

会費の自動引き落としはダメ?

「会費を銀行口座からの自動引き落としにできないですか?」

協会の関東甲信越支部がこのほど、千葉県船橋市で開いた講演会で、会場から出た質問です。

「終活・静かな看取りはできるのか」のテーマで講演した鈴木裕也支部長(当

時)の答えは、「会費を毎年納入する」とで、リビング・ウイルの意思が変わらないことを確認できます。毎年の納入は面倒かもしれません、大切なことです」というものでした。

会費の自動引き落としを求める声は少なくありません。東京・本郷の協会

- ・会費の自動引き落としはできないか
- ・在宅治療の訪問医はどこで探せるか
- ・リビング・ウイル(LW)の受容医はどこに
- ・尊厳死法はいつ成立するのか
- ・カードはどこに置いておけばいいのか
- ・カードを示せば、医師は尊重してくれるか
- ・救急搬送ではカード示せない。どうしたら
- ・入所施設でLWを実行してくれるか心配
- ・LWの有効期間は
- ・認知症の場合、LWは継続できるのか

※各支部で開催の講演会などで会員からよく出されるものを集約した。順不同

事務局でも、こうした問い合わせの電話をよく受けています。
「会費納入を忘れないため」「近くに郵便局やコンビニがなくて不便」「体力の衰えで外出がおつかう」等々、自動引き落としを希望する理由はもっともです。協会では今後の課題として検討していきたいと考えています。

年に一度の大切さ

年に一度の会費納入は、講演会場でも説明したように自らのリビング・ウイルを気分も新たに確認する良い機会となります。家族は会員の意思を確かめることになり、いざという時に自信をもつて医師に本人の願いを説明することができます。

なお、協会では今年度から、会費

納入の時期に当たる会員には、会報Living Will(リビング・ウイル)を緑色のビニール封筒に入れて送ることになりました(普段は青色です)。緑色のビニール封筒が届いたら、

納入時期です。

会費を3年続けて未納すると退会と

みなされますのでご注意ください。

118人が参加した船橋講演会では、他にも様々な質問が出されました。

「義父の容態が悪いのですが、入会で

きますか。入会の資格はなんですか」

「高齢者施設に入所したら、施設がリビング・ウイルを実行してくれるか心配です」

「在宅医療を希望するのに、お願いで生きる医師が見つからない。どうしたらいいのか」

切実な疑問や不安を抱いているのは、同支部の会員だけではありません。

表は、講演会などで「よく出される質問」を全国9支部から集めたものです。多くの会員が同じような悩みや疑問を持っていることがわかります。

支部の講演会や交流サロンに参加してもうれば、質問に丁寧に対応しますが、様々な理由から参加できない会員も少なくありません。今後、会報で「紙上Q&A」を企画することも検討中です。

「救急車で運ばれた時が問題だ。カードを見せられないし、救急医療は命を救うためのもの。尊厳死が法制化すれば安心して救急車に乗れるのに」

「親が認知症です。認知症の場合、リビング・ウイルには有効期間があるのでしょうか」

LWの受容協力医師 第80報

2015年3月~2015年5月の間に新しく登録なされた医師の方々です。
【会員医師は会とする】

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地
やまと@ホームクリニック	内科、消化器外科、大腸肛門外科	大和 太郎	石川県金沢市西泉2-1 TEL076-242-8010
西嶋医院	内科、小児科、在宅医療	吉田 賢史	東京都町田市成瀬台3-8-18 TEL042-726-7871
南平山の上クリニック	内科、外科、心療内科、消化器内科、在宅医療	八幡 憲喜	東京都日野市南平8-4-26 TEL042-599-7877
イオン厚木アシス診療所	内科、外科、訪問診療	石川 憲司	神奈川県厚木市中町1-5-10 イオン厚木1F TEL046-297-4123
国保町立小鹿野中央病院	整形外科	関口 哲夫	埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300 TEL0494-75-2332
月岡内科医院	内科	月岡 関夫	群馬県高崎市岩鼻町258-1 TEL027-346-1226
甲賀市立信楽中央病院	総合診療科	中島 恒二	滋賀県甲賀市信楽町長野473 TEL0748-82-0249
在宅診療 敬二郎クリニック	内科、外科、脳神経外科、麻酔科	三宅 敬二郎	香川県高松市松縄町1083-17 TEL087-864-3109
とよしまファミリークリニック	内科、老年内科、老年精神科	豊島 元	福岡県福岡市中央区谷1-9-22 TEL092-771-8858
むらおかホームクリニック	内科、婦人科	村岡 泰典	福岡県福岡市南区横手2-32-5 TEL092-985-1980
吉村内科	消化器内科、有床診療、強化型在宅支援	吉村 龍司	福岡県福岡市中央区平尾3-7-16 TEL092-534-0088
永野外科胃腸科医院	外科、胃腸科、皮膚科、整形外科	永野 昌宏	福岡県福岡市東区高美台2-4-27 TEL092-607-3261
山茶花在宅クリニック	内科	宮崎 信裕	福岡県福岡市南区那の川2-3-30-101 TEL092-524-2224
ホームケアクリニック	内科、心療内科、精神科	原 祐一	福岡県福岡市東区土井1-21-1サンコービル4F TEL092-691-8670
長丘五丁目クリニック	内科、消化器内科、肝臓内科	松岡 正樹	福岡県福岡市南区長丘5-28-10 TEL092-541-0055
まつおクリニック	緩和ケア内科、外科	松尾 勝一	福岡県福岡市早良区原5-3-6 TEL092-833-0333
大木整形・リハビリ医院	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科	大木 實	福岡県福岡市早良区藤崎1-21-19 TEL092-843-1715
原クリニック	外科、消化器内科、肛門外科	原 裕介	福岡県福岡市城南区梅林4-21-23 TEL092-872-7007
薬院内科循環器クリニック	内科	村岡 聰一	福岡県福岡市中央区渡辺通2-6-12 Y A 55 2階 TEL092-738-0123
松山診療所	内科、外科	瓦 隆	福岡県福岡市城南区松山2-8-5 TEL092-674-5123
浅部クリニック	内科、小児科、小児外科	浅部 浩史	福岡県福岡市東区香椎浜2-4-12 TEL092-671-2150
笠外科胃腸科医院	外科、麻酔科、肛門科	笠 健児朗	福岡県福岡市城南区荒江1-23-21 TEL092-841-1211
さくらのクリニック	内科(在宅緩和ケア)	鷲坂 英輝	福岡県糸島市志摩桜井2435番地17 TEL092-327-2880
堤医院	内科、皮膚科	堤 啓	福岡県古賀市青柳821-1 TEL092-944-2230
赤間センタークリニック	内科、循環器内科	矢野 万里子	福岡県宗像市赤間駅前1-4-7 TEL0940-32-2508

勤務先変更

医師名(敬称略)	新医療施設名	診療科	施設所在地	電話	前勤務地
佐々原 友子	市立豊中病院	緩和ケアセンター	大阪府豊中市柴原町4-14-1	06-6843-0101	大阪府
山口 昌夫	アルペンリハビリテーション病院	緩和ケア科	富山県富山市楠木300	076-438-7770	石川県
原口 勝	みどりの杜病院		福岡県八女市立野362-1	0943-23-0002	福岡県

前号で紹介した「愛知県名古屋市 桂名会クリニック」の電話番号が間違っていました。お詫びの上訂正致します。誤:058-701-1362 正:052-701-1362

ご寄付ありがとうございました(敬称略)

阿部 隆明	2,000	黒田 順子	5,820	寺山 加代子	3,000	山中 千鶴子	2,802
荒木 詩子	10,030	小林 和子	1,000	匿名	10,000	山崎 武久・雅子	1,000
安藤 浩行	5,000	小南 秀次郎	3,120	匿名	100,000	吉村 節子	3,000
安藤 政人	4,000	小山 ミツエ	9,000	匿名	1,000,000	米澤 芳枝	5,000
伊神 宏・美智子	9,000	齊藤 秀子	10,000	匿名	28,548	米澤 輝道・逸子	38,648
石原 裕美	820	桜井 佑一・琴子	1,000	戸谷 富美	3,000	和佐 千代子	2,000
故人 稲積 由里	100,000	佐々木 欽子	2,000	中沢 良彦	1,504	渡部 強	5,000
岩村 巖・麗子	3,000	眞田 純子	3,000	中島 明・淳子	2,000	[北海道支部扱い]	
植田 弥生	1,500	柴田 節男	1,900	南雲 甚平	7,000	ツカダ シヅエ	1,000
梅本 美代子	1,000	島田 弘二	3,000	西村 日貞子	1,000	柴田 久枝	3,000
浦田 幸	10,000	須貝 昭子	9,005	伴 辰三・久子	10,000	小野 編子	2,000
大原 博昭・禎子	1,000	杉田 茂子	10,000	藤田 マサイ	2,000	逸見 和子	3,000
尾高 富佐子	5,000	鈴木 良一・司	500,000	堀之口 林造・行子	3,000	柴田 幸吉	2,000
恩田 敏子	5,000	高間 克子	3,560	松田 弘子	500	匿名	6,072
柏原 ひとみ	1,440	竹内 敬之助	10,000	森谷 ヒデ	2,000	[中国地方支部扱い]	
柏原 稔子	6,000	竹内 昭子	5,000	茂呂 一男・富子	1,000	吉田 佳枝	10,000
金森 喜代	2,000	竹本 咲子	50,000	山崎 和男	50,000	匿名	37,580
川澄 美子	10,000	田代 義人・美子	3,000	山崎 愛子	50,000		
北村 啓子	1,495	田中 美枝	2,360				

訂正して、おわびします。会報157号ご寄附欄で竹部 敏数様の寄付額が「切手・3,848」とあるのは「切手・38,487」の誤りでした。

尊厳死の宣言書

(リビング・ウイル Living Will)

私は、私の傷病が不治であり、かつ死が迫っていたり、生命維持措置無しでは生存できない状態に陥った場合に備えて、私の家族、縁者ならびに私の医療に携わっている方々に次の要望を宣言いたします。

この宣言書は、私の精神が健全な状態にある時に書いたものであります。

したがって、私の精神が健全な状態にある時に私自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成しない限り有効であります。

- ① 私の傷病が、現代の医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると診断された場合には、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りいたします。
- ② ただしの場合、私の苦痛を和らげるためには、麻薬などの適切な使用により十分な緩和医療を行ってください。
- ③ 私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物状態)に陥った時は生命維持措置を取りやめてください。

以上、私の宣言による要望を忠実に果たしてくださった方々に深く感謝申し上げるとともに、その方が私の要望に従ってくださった行為一切の責任は私自身にあることを付記いたします。

リビング・ウイルの 勧め

本部
〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501
TEL: 03-3818-6563 FAX: 03-3818-6562
メール: info@songenshi-kyokai.com

北海道支部
〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目6 37山京ビル801
TEL: 011-736-0290 FAX: 011-299-3186

東北支部
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-12-39
旭開発第2ビル703号室
TEL: 022-217-0081 FAX: 022-217-0082

関東甲信越支部
〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-14 山崎ビル302
TEL: 03-5689-2100 FAX: 03-5689-2141

東海支部
〒453-0832 名古屋市中村区乾出町2-7 正和ビル2階
なかむら公園前法律事務所内
TEL: 052-481-6501 FAX: 052-486-7389

北陸支部
〒920-0902 金沢市尾張町1-7-1 山崎法律事務所内
TEL: 076-232-0900 FAX: 076-232-0932

日本尊厳死協会は、命の終わりが近づいたら自然のままに寿命を迎え、延命措置を望まない意思を表したリビング・ウイル「尊厳死の宣言書」を発行、その普及に努めています。お友だちやお知り合いに協会や「宣言書」のことをお伝えいただければと願っています。

関西支部
〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-46 新大阪北ビル702号
TEL: 06-4866-6365 FAX: 06-4866-6375

中国地方支部
〒730-0024 広島市中区西平塚町2-10
TEL: 082-244-2039 FAX: 082-244-2048

四国支部
〒790-0067 松山市大手町1-8-16 二宮ビル3F B
TEL: 089-993-6356 FAX: 089-993-6357

九州支部
〒810-0001 福岡市中央区天神1-16-1 毎日福岡会館5階
TEL: 092-724-6008 FAX: 092-724-6008

各支部のホームページへのアクセスは、本部ホームページからのリンクをご利用ください。

協会会員: 11万 9884人
(6月1日現在)

次号は、10月1日発行

編集後記

読みやすく、見やすく、を目標にリニューアルした2号目の会報をお届けします。前号を改めた箇所もあり、支部の活動を伝える頁は「支部活動最前線」から「支部活動 2015夏～秋」と流れました。カラー化のもとでの色具合、活字の大きさなど課題を抱えながら、会報は進化し続けます。

(会報編集部)

新会報への反響は「広場」で紹介されました。会員の読みたい記事のある、「会員の読みたい記事のある、読み易い会報」を目指しています。号インタビュー、吉永みち子さんの「元気印」をいただいて身を奮い立たせています。(白井)

Living Will

日本尊厳死協会会報 No.158
2015年7月1日発行

発行 一般財団法人 日本尊厳死協会
理事長 岩尾總一郎
編集 会報編集部
デザイン 株式会社イーネ
印刷 JP ビズメール株式会社

*本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。
引用、転載に関しては当協会にご相談ください。

を会報作りの羅針盤として、これからも頑張りたいと思います。(清水)

目次

- インタビュー 吉永みち子さん 02
- 尊厳死法制化議連が総会 06
幅広い支持を目指して名称変更
- 医療相談 900件超す 08
- 2015年度事業計画・予算決定 10
LW普及・協力医との連携・費用抑制を3本柱に
役員名簿 決算・予算書
- ひろば 12
会報を読んで／柳田邦男氏「10の心得」／戦後70年に思う／投稿写真・スカシユリの群落
- 支部活動 最前線 14
『あなたの痛みはとれる』第1回勉強会＝東海支部／LW研究会北陸地方会／萬田緑平医師・高知講演会／取材協力でLW広める＝北海道支部
- 支部活動 2015年夏～秋 16
- 会員の「ここが知りたい」 20
会費の自動引き落としはダメ?
- LWの受容協力医師 第80報 21
- ご寄付ありがとうございました 21
- 編集後記 22
- 尊厳死の宣言書 23
- 本部・支部一覧 23
- 協会出版案内 裏表紙

出前講座を開こう!

支部の講師が各地の集まりに出向いて話をする出前講座は、多くの人に協会とリビング・ウイルを知ってもらう良い機会です。公民館の催しや敬老会、趣味のサークル、企業の勉強会など、会場を用意していただければどんなところにも出向きます。会員の皆様「出前」先に心当たりはありませんか。出前講座の開催は、皆様のご協力に支えられています。詳しくは支部までお問い合わせください。